

劇団チョコレートケーキ [生き残った子孫たちへ 戦争六篇]

追憶のアリラン

脚本：古川 健 / 演出：日澤雄介



企画・製作：一般社団法人 劇団チョコレートケーキ

共催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）

独立行政法人日本芸術文化振興会

2022年8月18日（木）～8月26日（金） @東京芸術劇場 シアターウエスト

ご挨拶

いつもの文言で恐縮ですが、この物語は歴史上の事実を参考にしたフィクションです。海の向こう、朝鮮半島で実際にあったことをモチーフにしていますが、舞台の上のものは全て創造の産物です。その点だけお含みおきいただければ幸いです。

この『追憶のアリラン』は初演が2015年、七年前になります。初めての東京芸術劇場への挑戦ということで、非常に思い出深い作品でもあります。またこの劇場で、あの登場人物たちに出会えるということは望外の喜びです。

この物語の出発点には、私の母方の祖父がいます。実際にピョンヤンで検事を務め、終戦後拘束された祖父。戦後、晩酌しながらいつも朝鮮の思い出を語った祖父。私が生まれるずっと前に亡くなった祖父。もちろん、この物語は祖父の物語ではありませんが、それでもこれを通じて面識のない祖父に会えたような気がしています。食卓でアリランを口ずさんでいるお祖父ちゃんに。

コロナが猛威をふるい続ける中、ご来場、本当にありがとうございます。どうか最後までごゆっくりお楽しみください。

日本の戦争にまつわる六本。これはそのうちの一本でもあり、また唯一の一本でもあります。初演からまた観てくださる方。今回初めて観てくださる方。他のも観てくださる方。これだけを観てくださる方。劇場に足を運んでくださる全てのお客様に深く感謝しております。そしてこれからも劇団チョコレートケーキをよろしくお願いいたします。

劇団チョコレートケーキ／劇作家 古川 健

この『追憶のアリラン』という作品は、2015年4月に初演を行いました。東京芸術劇場で行った初めての作品です。劇場の広さとロビーの広さに圧倒されて、この空間を本当に埋められるのか？と思ったのを印象深く覚えております。

7年前の作品に改めて向き合い、劇中で行われている事と現在の情勢があまりにも酷似していることに驚きを感じ、何も変わっていないことを痛感します。残念です。

この作品では「支配の罪」という言葉が出てきます。支配の罪とは何なのか、自分の理想と正義が他者にとってはどのようなものなのか。日本統治下の平壤で理想と現実とに苦悩する千造の姿を見ながら、僕もこの問いの答えを探したいと思います。

今公演は【生き残った子孫たちへ 戦争六篇】ということで、6本の作品をご用意いたしました。この国はどのような歩みを経て今の形になったのかを多角的に見ることで、もう一度この国を見つめ直すきっかけになればと思います。そして、これから踏み出す一歩目の助けになれば嬉しいです。

本日はご来場ありがとうございました。最後までごゆっくりお楽しみください。

劇団チョコレートケーキ／主宰・演出 日澤雄介

キャスト

豊川千造	朝鮮総督府平壤地方法院検事局 三席検事	・・・佐藤 誓
豊川咲子	千造の妻	・・・月影 瞳
中垣飛松	朝鮮総督府平壤地方法院検事局 首席検事	・・・原口健太郎（劇団StackSize）
緒方武夫	朝鮮総督府平壤地方法院検事局 次席検事	・・・谷仲恵輔（JACROW）
川崎豊彦	朝鮮総督府平壤地方法院検事局 四席検事	・・・渡邊 りょう
荒木福次郎	朝鮮総督府平壤憲兵隊長	・・・佐瀬弘幸（SASENCOMMUN）
金公欽 キム ゴンフム	人民裁判委員	・・・大内厚雄（演劇集団キャラメルボックス）
李孝三 リ ヒョサム	人民裁判取調官	・・・林 明寛
任白龍 イム ペクリョン	看守	・・・菊池 豪（Peachboys）
崔承化 チェ スンファ	人民裁判朝鮮側証人	・・・辻 親八（トローチ）
崔仁恵 チェ インフェ	承化の娘	・・・小口ふみか
朴忠男 ぼくただお	パク チュンナム 検事局朝鮮人事務官	・・・浅井伸治（劇団チョコレートケーキ）

スタッフ

脚本 / 古川 健（劇団チョコレートケーキ）	演出助手 / 加藤広祐（藤一色）
演出 / 日澤雄介（劇団チョコレートケーキ）	演出部 / 浦田大地、いまい彩乃
舞台美術 / 長田佳代子	石塚夏実、谷川清夏、中神真智子
美術助手 / 小島沙月	宣伝美術 / R-design
照明 / 松本大介（松本デザイン室）	写真 / 池村隆司
照明オペレーター / 加藤直子（松本デザイン室）	撮影 / 神之門隆広、与那覇政之、松澤延拓、大竹正悟
音響 / 佐久間修一（POCO）	タブレット字幕 / G-marc（株式会社イヤホンガイド）
音楽 / 加藤史崇（POCO）	web / ナガヤマドネルケバブ
衣装 / 藤田 友	制作協力 / 塩田友克、平田愛奈
舞台監督 / 渡邊 歩	制作 / 菅野佐知子（劇団チョコレートケーキ）

協力（五十音順・敬称略）

ACT JP エージェンシー、アクトレインクラブ、エンパシィ、オフィスPAC、オフィスモノリス、株式会社 地球儀、キョードーファクトリー、スーパーエキセントリックシアター、チーズfilm、トム・プロジェクト、ハイエンド、mitt management、演劇集団キャラメルボックス、劇団StackSize、SASENCOMMUN、JACROW、トローチ、Peachboys、藤一色、株式会社イヤホンガイド、CAIMAN WORKS、合同会社Carps、tran.cs、美術工房いろあと、POCO、松本デザイン室、豊永格、豊永美恵子、豊永多門、蒔崎今日子

次回公演 >>>>>> 2023年7月

新作公演

脚本: 古川健

演出: 日澤雄介

出演

浅井伸治

岡本 篤

西尾友樹 ほか

1990年、バブル景気に沸く日本。特撮ヒーローものを制作する会社の企画室。20代30代の若手クリエイター中心に番組の脚本会議が行われている。
少年時代に特撮巨大ヒーローのシリーズに熱中した経験のある彼らは、自分たちの仕事が所詮は過去の名作の焼き直しに過ぎないことに忸怩たるものを感じながらも、半ば先行の名作の後追いになるのは仕方ないとあきらめている。そこには、本来は大人向けの番組を作りたいという屈折した思いもある。

そんな覇気のない会議の中で、一人の脚本家があるシリーズで放送された異色エピソードを話題にする…

<http://www.geki-choco.com/>

今後の予定

【古川健:脚本／日澤雄介:演出】

●東宝

『アルキメデスの大戦』

2022年10月1日(土)～10月17日(月)

@シアタークリエ 他



【大内厚雄:出演】

●三人芝居

『オブセッション』

2022年9月14日(水)～19日(月・祝)

@CBGKシブゲキ!!

●劇団イナダ組30周年企画

『ライナス』

2022年11月25日(金)～26日(土)

@札幌・道新ホール

●Sdp Blue the 8th

『還帰(仮)』

2023年1月26日(木)～29日(日)

@絵空箱



【佐藤誓:出演】

●劇団浅敷童子

『老いた蛙は海を目指す』

2022年12月15日(木)～12月27日(火)

@すみだパークシアター倉



【月影瞳:出演】

●文化財de文化祭in安楽寺

月影瞳ライブ～朗読と名曲のひとつとき～

2022年10月9日(土) 14時／17時

@曹洞宗 安楽寺



【林明寛:出演】

●あやめ十八番

第十四回公演『空蟬』

2022年9月1日(木)～9月4日(日)

@東京芸術劇場 シアターウエスト



【辻親八:出演】

●Reading Company 「ゑほう巻き」

朗読劇『地底』『足音』

2022年11月2日(水)～11月6日(日)

@下落合TACCS1179

お問合せ→ehoumaki.ti@gmail.com



【佐瀬弘幸:出演】

●朝シェイクスピア

『30分でわかるマクベス』

2022年9月11日(日)

@Mixalive TOKYO Hall Mixa

●劇団時間制作

第二十五回本公演『12人の淋しい親たち』

2022年9月22日(木)～10月2日(日)

@東京芸術劇場シアターウエスト



【原口健太郎:出演】

●こまつ座

『イヌの仇討ち』

2022年11月3日(木)～11月12日(土)

@新宿紀伊國屋ホール



【菊池豪:出演】

●劇団たぬきの親子×みそじん コラボ公演

『紅一点』

2022年9月23日(金)～9月25日(日)

@鹿児島市中央公民館 ホール

●Peachboys 第12回公演

『タイトル未定』

2023年4月19日(水)～4月23日(日)

@中野ザ・ポケット

●映画『グッドバイ、バッドマガジンズ』

2022年11月公開



【小口ふみか:出演】

●果報プロデュース

『あゆみ』

2022年9月28日(水)～10月2日(日)

@すみだパークスタジオ倉

●はらぺこペンギン!

20周年記念公演『OJISAN'4』

2022年10月19日(水)～23日(日)

@赤坂RED/THEATER

